

# キララだより

No.9

○教育目標「ゆたかさ たしかさ たくましさ」 文責：小林 双美

## 本年度も多くのご支援 ありがとうございます 本日 卒業式を迎えました



いつも明るく楽しく、最上級生として部活動や委員会ですっかりと全校を引っ張ってきてくれた三年生の皆さんが、本日、卒業の日を迎え、巣立ちます。

今年は何もかも例年通り・予定通りとはならず、大変なこともありましたが、そんな中でも工夫をしながら協力してがんばってきました。大きく成長したみなさん、堂々と胸を張って新しい一歩を踏み出してください。

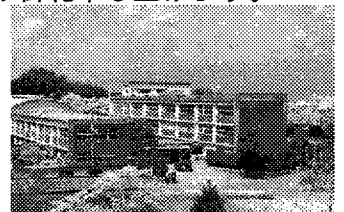
### 令和3年度 飯田市立竜東中学校 卒業証書授与式 学校長式辞

例年になく厳しい寒さの冬から季節は移り変わり、温かな春風に誘われて、きららの丘に梅の花が咲き始めました。本日、令和三年度の卒業証書授与式を挙げる事ができますことに、心より御礼申し上げます。

さて、中学校三年間の課程を修了し、本日、竜東中学校を巣立ちゆく十五名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、一人一人と目を合わせて卒業証書を手渡しました。皆さんの瞳からは、充実した中学校生活を送ることができたという自信や満足感を感じとることができ、うれしさと同時に、別れの寂しさも感じています。

私は皆さんの入学と同時に赴任してきました。皆さんは時代が平成から令和に変わった記念すべき入学生で、九月には、創立五十周年記念式典が開かれました。そして、その年の三学期には、今まで経験したことのない新型コロナウイルス感染症による突然の休校となりました。皆さんは、中学校時代の三分二をコロナと戦ってきたこととなります。

私が皆さんと生活した中で、最初に心に残っている出来事は、一年生の自然体験学習です。阿南少年自然の家での飯盒炊爨は大成功でしたが、空は小雨の天気になってきました。その後に予定されていたウォークラリーは中止を考えたのですが、このくらいの雨ならできると判断して実施することにしました。雨はどんどんと強くなり、私の心は不安と後悔でいっぱいになりました。しかし、この心配を打ち消すかのように、全てのグループが手を取り合い、笑顔で時間内にゴールしてきました。さらに翌日は誰一人として風邪をひく人もなく、このクラスは最強だと感じたものでした。出発前に私は皆さんに「不自由を楽しんでください。」と挨拶しましたが、最悪の条件の中での体験も楽しみに変えてしまい、最高の絆を深



めた姿を見て、担任の先生と同様に、皆さんのことがますます好きになりました。



やる気に満ちた最高学年へと成長しました皆さんですが、コロナ禍のため、いくつもの行事が中止や延期となってしまいました。部活動も思うようにできませんでした。しかし、そんな困難に打ち勝ち、五十二年目の竜東中に確かな足跡を残してくれました。

今年度の「雲母が丘祭」では、当たり前を見直し、多くの工夫や努力がありました。全校合唱「虹」は震えるほどの感動がありました。絆を深めた仲間との思い出は、一生の宝となることでしょう。

これから皆さんが歩いていく人生は、うまくいかないことの方が多いかもしれません。しかし、コロナ禍で苦しんだ経験から、人の気持ちを理解したり、よりよく判断することの大切さを学びました。この先、思い通りにいなくても、誰かを批判するのではなく、誰かのために力を発揮できる強い人でいてほしいと願います。物事を前向きにとらえ、その場にいるだけで私も幸せな気持ちにさせてくれる皆さん。人の役に立ち、喜んでもらえるような生き方ができる人は、これからも、きっと幸せな人生が歩めるはずですよ。

竜東中で、過ごした日々を宝物とし、自分の夢の実現に向けて挑戦を続けていってください。野球選手のイチローさんは、「小さいことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただひとつの道だ」とメッセージを残しています。卒業生の皆さん、一生懸命に生きていってください。そして、皆さんの周りにいる友達、先生、家族への感謝の気持ちを忘れないでいってください。

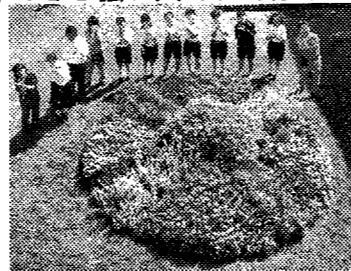
結びに、ご列席の保護者の皆様、お子様のご卒業、本当におめでとうございませう。これまでのご苦勞も、大きな喜びになっていることと存じます。これから子どもたちのよき理解者、そして人生の伴走者であってあげてください。

本日お越しいただけなかったご来賓や地域の皆様からも、卒業式での晴れ姿は見ることはできないけれど、「これからも、見守り、応援しているよ。」と、お言葉を寄せていただいています。

卒業生の皆さんの輝ける未来に、幸多からんことをお祈りして、式辞といたします。

令和四年三月十六日

飯田市立竜東中学校長 片桐 和子



## 送 辞

外を見れば柔らかな日差し、枝葉に愛が注がれ小さな夢見る花の蕾がほころびようとしています。春風が吹くこの素晴らしい日に三年間の学業をおさめ、竜東中学校を巣立ちゆく十五名の皆様。ご卒業おめでとうございませう。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

昨年度までは卒業生を見送る立場にあった先輩方が、今送られる立場にあるということに時の流れの速さを感じています。そんな長いようで短い中学校生活の中で、先輩方は僕たちにたくさんのことを教えてくれました。

二年前の春、僕たちが竜東中学校に入学した時、笑顔で迎えてくださった先輩たちを今でも覚えています。入学してまもない時、優しく声をかけてくださった先輩方の背中が、年一つ違ひとは思えないほど、とても大きな存在に見えました。

先輩方は「熱慮断行」～Join our hands～を生徒会スローガンとして一年間竜東中学校を作り上げ、引っ張って来てくださいました。

部活動においても先輩方は僕たちのことを常に気にかけて下さいました。先輩方からいただいた厳しいお言葉は、僕たちの心の成長に大きく響き、優しいお言葉は、僕たちの心の安らぎとなりました。真剣に活動する先輩方の姿は輝かしく、いつまでも僕たちの目標でした。部活動で過ごした先輩方との時間は、とても貴重なものとなりました。

新型コロナウイルスの感染は収束が見えず、長野県も初めてまん延防止措置が適用されました。僕たちの学校生活も変わってきています。日々の日常では、マスクで表情が見えない生活になり、アルコール消毒の徹底や、毎朝の体温チェックなどが欠かされなくなりました。でも先輩方は毎年行われている企画をどうにか行おうと、色々な工夫をして行ってくれました。その企画はとても楽しく、全校を笑顔にしてくれました。そして全校が笑顔になって竜東地区に笑顔が広がっていったと思います。

九月に行われた第四十八回雲母ヶ丘祭では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対策を講じながらの開催となり、内容、参加者などを変更して実施しました。出口が見えず、苦しい生活が続いていた中でしたが、三年生全員が協力して、学校を明るくして下さいました。どんな時でも僕たちの様子を気にかけてくださり、的確なアドバイスをくださったおかげで素晴らしいものを作り上げることができました。本気で取り組む先輩方の姿から、協力することの大切さや努力を惜しまないことの大切さを教えていただきました。

そして、十月行われたふるさと竜東の集いでは、学校区をよりよくするためにスライドを作ったり、全校の意見を聞いたり、グループに別れて、意見を伝え合ったりなどの色々な工夫をして行って下さいました。そのおかげでさらに竜東地区が1つになった気がしました。

この一年間、楽しいことを色々企画して行って下さいました。そんな中でも努力し、乗り越えてきた先輩方であればどんな困難であろうとも、乗り越えることができると僕は確信しています。三年間つちかった「一歩進んだ私」の



精神に心を刻み、自分にできる問題点への解決策を創造し、新たな世界でご活躍ください。

最後に、僕たちを正しく導いて下さった先輩方に感謝の意を表し、今後の活躍と健康をお祈りしつつ、在校生一同、心よりお祝い申し上げます、卒業される皆様への送辞とさせていただきます。

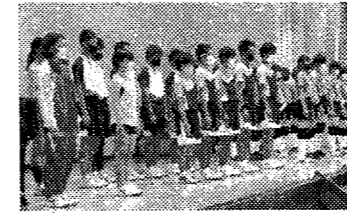
令和四年三月十六日

在校生代表 小澤 優斗

## 答 辞

雪の多い、厳しかった冬が終わり、暖かい春への変り目となりました。

今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルスの影響で学校生活でも多くの制限がありました。今まで通りに活動できないことだらけでした。そのような中、今日は私達の為に卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。私達の卒業を祝福して下さる沢山の方々に向け、卒業生を代表して御礼申し上げます。



思い返すと、小学六年生の卒業間近からずっと楽しみにしていた中学校生活の三年間は本当にあつという間でした。それぞれの小学校を卒業して竜東中学校に入学した十五人。最初はお互いのことをよく知らず、どうやって接したらいいのか分かりませんでした。ですが、一緒に授業を受けたり活動したり、クラスでたくさんの行事を共にしてきてクラスの中がとて賑やかで楽しくなりました。また、一年生の時は皆で文化祭の有志発表に参加しました。みんなでダンスを覚えて、シナリオを考えて、とても楽しかったのを今でも覚えています。こういった一つのことを皆で協力して成し遂げることでクラスの仲が深まり、絆も深まったと思っています。

二年生になると、先輩という立場になり後輩を助ける機会が増えました。また、生徒会や部活動を引っ張っていく立場にもなりました。自分達が引っ張っていく立場になったことで先輩方の凄さ、自分達がどれだけ先輩方を頼っていたのかを思い知らされました。ですが、沢山の人が協力して、支えてくれたことで乗り越えることができました。

最上級生の三年生になって十月に修学旅行がありました。修学旅行は一言で言うと楽しすぎました。予定していた県外の広島、奈良、京都には行けず県内の修学旅行になってしまいとても残念でしたが、そんな残念だという気持ちを吹き飛ばすほどの楽しさでした。そして修学旅行でクラスの皆との距離がより縮まりました。県内でも私達が楽しめるように二泊三日の計画をし、下見に行ってくださった先生方にはとても感謝しています。また、三年生になり全校のお手本として、前に立つことが増えました。今年度の生徒会は『熱慮断行～Join our hands～』をスローガンとして活動してきました。新型コロナウイルスの影響で制限される活動もあり、不安な気持ちの中活動してきました。そんな中でも自分達で臨機応変に行動して、全校で協力して様々な活動を大成功させてきました。大成功といえば、「雲母が丘祭」です。雲母が丘祭は『絆～Join our hands』がスローガンで、全校で協力してきました。人数の制限や出来ない活動がありましたが、家族に自分達の成長も見てもらったり、クラスの絆を深め、絆を再確認する機会となりました。また、「ふるさと竜東の集い」では文化祭とは別日に行い、地域の方の体験談を聞いたり、竜東中学校に入学予定の小学生、地域の方々や竜東地区について今自分達がすべきこと、できることは何かを話し合ったりすることができました。私は沢山の活動を通して、沢山の



人と関わって来て、今までと違う環境でも臨機応変に活動して、人と人に関わることで絆が生まれて絆が深まること、協力することの大切さを学びました。

このように沢山のことを学んだ中学校生活を支え、導いてくださった先生方、本当にありがとうございました。これから進む進路についても、一人一人にきちんと向き合ってくれて、面接練習を何回もして下さいました。また、部活動、学習など多くの面で支えてくれた両親や、生徒会や部活動で力を貸してくれ、先日の「三年生を送る会」では心のこもった発表をしてくれた在校生の皆さんにとっても感謝しています。

最後にクラスの皆さん、小須田先生、三年間ありがとうございました。私は、これ以上こんなに楽しくて最高のクラスと担任の先生に巡り合えるとは思えません。楽しいことほど時間が経つのは早いと、国語の授業で習いました。まさにその通りです。中学校生活の三年間、楽しすぎてあつという間でした。もっと、皆との中学校生活の時間が欲しかったです。ちょっとしたことで笑っちゃう面白い皆が大好きです！それぞれの進路で頑張ろう！また、これから何人もの生徒の先生になっていく小須田先生にとって、私達が印象に残るクラスだったら良いと思います。

これから私達は、それぞれの進路に向かって一歩一歩自分の足で歩いて行きます。この竜東中学校で得た経験、思い出は一生の宝です。本当にありがとうございました。竜東中学校のますますのご発展を心より祈念して、答辞といたします。

令和四年三月十六日

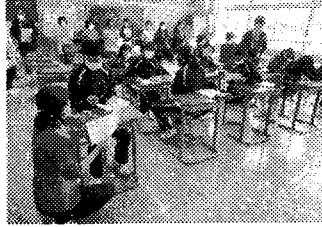
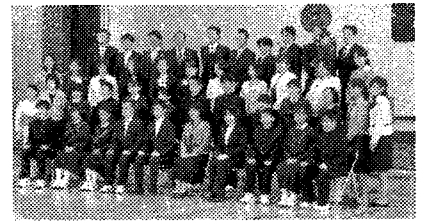
卒業生代表 岡本 望逢

## PTA会長 挨拶

3年生のみなさん、卒業おめでとうございませう。また、保護者のみなさま、おめでとうございませう。本日に至るまで、片桐校長先生はじめ、教職員の皆様には、情熱と、愛情を持ってわが子らをご指導いただき深く感謝申し上げます。3年間もかけて、いろいろご迷惑をお掛けしたかと思いますが、今日の晴れ姿をもって、いい思い出にして頂き、この子らが、竜東中学校に遊びに来た際には、優しく接して頂けれ

ばと思います。

卒業生の皆さん、あっという間の3年間だったのではないのでしょうか。たった15名の入学式、竜東中学校始まって以来の少人数のクラスとなっていました。期待と不安でいっぱい始めた部活動では、少ない人数にも関わらず、後輩の指導や、気配りの出来る3年生でした。勉強のほうでも、少人数ならではの行き届いた授業により本当に出来の良い生徒になっていましたね。中学校生活はかけがえのないものを見つけましたか？誰から見ても、こんなにも仲間を思



いやれるクラスは、他にないと思います。数々のエピソードを参観日後に、小須田先生からお聞きします。あるとき、足をけがした女子生徒を教室までおんぶして運んであげる優しい男子生徒がいる、それをみて、応援できるクラス、授業参観中に問題を解くのに、分け隔てなく協力し合っ

て教えている姿からも、普段の生活姿勢が目に見えるようでした。家庭に帰ってきてからも、女の子、男の子なくクラスメート全員の面白エピソードが聞けます。本当に羨ましい限りです。この友情を一生忘れることなく未永く継続していけたらいいです。また、このクラスの雰囲気

を大切にしてくださった、担任の小須田先生、牧先生、平沢先生、本当にありがとうございます。先生方に見守られた子供たちは幸せでした。感謝しています。これから、それぞれの将来に向かって今までの義務教育と違い、自分で決めた初めての進路へ向かいます。自分で決めたことです。つらいことや、逃げ出したいこと、正直たくさんあります。また、それと同じだけ楽しくて、充実した日々もあります。緊張の毎日が続くと思いますが、そんなときに思い出してください。3年間ともに過ごしてきた仲間がいます。励ましあって、時には、厳しい言葉をもらい、竜東地区を盛り上げられる大人になって下さい。竜東中学校を忘れないでください。

最後になりますが、影、日向に子供たちをいつも温かい目で見守って下さる地域の皆様、各地区の公民館の皆様、生徒、学校の為にいつもありがとうございます。竜東中学校の生徒は、地域の皆様に支えられていることを十分に分かっています。これからも、よろしく願います。

卒業生の皆さんのこれからのご活躍と、竜東中学校の益々の発展を心より祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和四年三月十六日

竜東中学校PTA会長 林 栄次郎

### 保護者代表 挨拶

卒業生の保護者を代表いたしまして、お礼の言葉を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大の中で過ごした中学校生活でしたが、本日、卒業式を迎えることができたのは、ひとえに先生方のおかげと感謝しております。

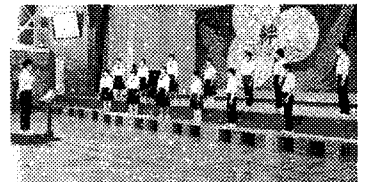
1年生の終わりの休校に始まり、部活動ができない時期もありました。行事の中止や縮小もありました。楽しみにしていた修学旅行も県外へ行くことはできませんでしたが、県内でも泊まりで行くことができたのはよかったと思います。雨に降られて、予定していた事ができなくても、それを“楽しい”に変えて過ごせる子供たち。人数は少ないけれど、常に笑いに包まれた、協調性のあるクラスでした。入学したばかりの頃は、小学生気分が抜けなくて大丈夫だろうかと心配したこともありましたが、担任の小須田先生をはじめ、先生方が子供たちのいいところを認め、伸ばしてくださったおかげで、今の仲の良いクラスがあると思っています。本当にありがとうございました。

これから、それぞれの進路に向かい、別々になっていくわけですが、竜東中で出会えた先生方、友達

はかけがえのない財産です。自信を持って歩いて行って欲しいと思います。最後になりましたが、子供たちを温かく見守ってくださった地域の方々にもお礼を申し上げます。3年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

令和四年三月十六日

保護者代表 榊山 敦子



#### ～今後の日程～

3月29日(火) 準備登校日の日程

登校 8:10まで  
・教室移動・式練習・入学式準備 等  
下校 11:45

4月6日(水) 入学式・1学期始業式日程

登校 12:40まで  
・入学式・始業式・写真撮影・片付け 等  
下校 15:40

#### ～今年度末で転退職される先生方～

片桐 和子 校長先生	飯田市教育委員会へ
小林 双美 先生	飯田市立旭ヶ丘中学校へ
小須田 聖 先生	飯田市立飯田東中学校へ
松島 広美 先生	阿智村立浪合小学校へ
赤羽真理子先生	阿智村立阿智第一小学校へ
田平 節 先生	阿智村内学校へ司書として
吉澤 亜樹 先生	飯田市立飯田東中学校へ
中田 博 先生	飯田市立飯田東中学校へ
中曽根美里先生	飯田市立松尾小学校へ
菅沼 則之 先生	松川町立松川中学校へ

☆ありがとうございました☆